七月廿四日　夕刊

常磐毎日新聞

日刊

定價一部金貳錢　廣告料五號十二字詰一行金五拾錢　郵税五厘
日曜祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　宮崎久石
發行所　常磐毎日新聞社
福島縣石城郡平町長橋町三五
印刷所　常磐毎日印刷株式會社

一方的社會觀の害毒

S K 生

思想は時所位によりて、榮枯衰盛消長がある。各思想の歴史は之を教示して餘りある。人民が往時奴隷的境遇に沈淪し、人格を認められざる悪習を打破する爲め、先哲は血涙を流し身命を賭して、個性の價値を力説し、萬民の自由平等を絶叫し、天賦の人權、自然の權利等を唱道した。當時に於けるこの叫びは實に貴重な主義であり、價値ある思想であつたが、その極端に走りて民主々義、共産主義、社會主義無政府主義等を現じた。そしてこの「左傾」の極端に對し「右傾」を以て之に對抗するもの生じたるが近時の形勢である。

唯一の宗教、神政主義治下の中世は、斷じて理想の社會ではなかつた。中世は宗派宗教の教權以外に出づるを許さゞりしを以て、暗黒時代を現じたのであつた現在露國のボルシエヴ井ズム、伊國のファシズム、獨逸のナチズムも亦、唯一の主義に徹底せんとして暴力に訴へてゐる。中世の教權を以てなほ一日護る所ない時所位により、或一種の主義思想が他を風靡し、彈壓以て之を流行せしむることあるは免れざる所なるが之を過信し偏重すれば、必ず弊害を生ずる。故に宗教信仰も一種の要素として見るべく、もし羅馬法王の治下を再現するあらば、再び宗教改革運動の生ずることを豫期せねばならぬ。藩閥政治が政黨政治に代り、政黨政治が超政黨者、或は軍人政治に代置され、流轉暫らくも止まざるが如く、權勢は移動する。もし得意の勢ひに乘じて、一方のみを强調し力説し擁護し硬化するに努め、地方を放棄し排斥し逆待し冷遇する所あらば、猛烈なる反動を招ぐは必然の數である。人間は一旦得意の地位に立てば權勢慾、獨占慾、獲得慾等々の本能益々强く、鹿を逐ふ獵師山を觀ざる勢となり、暴力以て遂に廢頽するのである。一方社會觀の消長史は之を證する。

……續く……

○明日の献立○

【朝】味噌汁…葱、小皿やきのり

【晝】煎り豆腐　小丼　芥子漬茄子

【晩】玉子やき　染おろし大根　豚肉と馬鈴薯甘辛煮

時計
高橋時計店
平町二丁目
・小店員募集委細面談。

花柳病科　外科
木村外科醫院
平町六丁目橋際　電話三〇九番

公認甲種
電動機・變壓器・電燈
發電機・捲線修理・動力
電氣工事
設計請負
石田電機工業所
平研町（電呼二五七番）
石田亮三郎

高久病院
院長　醫學士　高久忠
副院長　新潟醫學士　赤羽清
藥局長　藥劑師　佐竹菊雄
平町田町　電話五一三番
內科小兒科
耳鼻咽喉科
外科花柳病科
レントゲン科

御新盆提灯
●御戒名提灯
特製スソ模様入レモ出來マス……
平。四　電話九五番
スガノヤ提灯店
◇お早く御下命の方は……
特に御相談に應じます。

難波醫院
內科一般
醫學博士　難波睦
看護婦募集
平町大町新川端
電五〇二

御挨拶
酷暑を迎へます折柄謹みて皆々様の御健康を御祈り申上げます
扨私儀水野化粧院を開設致しましてから恰度今月で七週年を迎へました。
微力の私共は到底迎へざゝ永い歳月で御座いますが、これ偏に皆々様方の御引立によるたまものと御禮申述べる次第で御座います。
今度これが記念と皆々様への一層のお務のためにオゾン理容器一臺を備へつけました
この理容器具は近代美容術の機械化で御座いまして御使用後の御滿足は決して申迄もない事を固く御誓ひ致す次第で御座います。是非一度御試しあられますことを御願ひ致しますと共に七週年を迎ふるに當り御愛顧の皆々様方に御挨拶申上げる次第で御座います。
昭和十一年七月
平驛前
美容と結髪　水野化粧院
院主　水野冬子
電話（營業所六七八番　自宅四軒町水野商店五二五番）
御得意皆々様方に

新型を誇る
ヤマ方の！
婦人子供服
デパート納めの一流製造家よりの直仕入品につきその型、その柄確かに御萬足を得ると存じます。
店內豐富に陳列致しました。
どうぞ御覽下さいませ。
平町弐　山家メリヤス店

內科
外科一般
金成醫院
金成忠義
平鎌田町（電三五八）

今年は平年作

農家の危憂一掃

發育は平年より劣るが昨今の天候は頗る順調

▽……農試分場の發表

神谷村石城農事分場の本年度大暑稻作々況は總平均に於て草丈一・九九六、莖數一七・一で平年に比し草丈〇・〇三三、莖數〇・五の何れも減であるが挿秧後の天候氣溫六月中は平年に比し大差なく七月に入つて氣溫低く降雨量極めて多かつたゝめ一時作況不安を懸念されたが同月中旬から氣溫次第に上昇、平年に比し二度二分高くなり降雨量も適當になつたので發育順調となり草丈莖數に於て平年より幾分劣るが大差なく平年作並と見られてゐる。又附近農家の作況も大差がない

小選手達が奮戰力闘する

郡下兒童競技

愈よ明日展開される

平町及びその附近の本郡第三區に處屬する小學校兒童が奮戰力闘する競技會は幼きもゝの待望裡に既報の如く愈よ明二十五日（雨天順延）午前七時半から平商グランドに開催される參加校の選手番號は

6平第一11同第二15同第三8内郷尋高11同第一9同第二2同第三3小川4好間尋高5同尋7赤井第一10同第二12川前14桶賣13飯野16平窪の十六校約五百名、個も母校の名譽を小さな双肩に荷ふ可憐な選手達が胸を躍らしつゝトラックにフイールドに全力を注いで眞劍に奮闘する壯烈な肉彈戰を演ずる磐中五年男子四百米リレーは來年の磐中主催郡下小學校兒童リレー戰の前哨戰として各方面から期待されてゐるが各校から出場する此の花形選手は左の如くである

（平第一）川崎機男　蛭田清二　小林德司　穴戸榮藏（同第三）酒井博　丸山一郎　丸山三郎　岡田實（内高）遠藤廣甲　藤谷春吉　高橋勝一　屋輝（平窪）鈴木幸　高萩勝大河邊孝也　和田勝由（内三）佐藤剛平　高橋若松　神山正雄　遠藤健一郎（小川）草野正作　野村一洲　吉田芳之　草野定德（飯野）坂本由一松崎伊雄　荒川久男　小田松之助（内一）山下喜平　紺屋秋吉　小椋三男村上秀治郎（好高）森智由一　小林章　大河内勝衛（赤一）大野和男　佐藤好美　木村光夫　菊田元勝（好尋）久保木眞司寺田喜一　白土安彦　鈴木七郎（赤二）佐藤直人白土賢功　山中新司　大里米男

中等校の選手番號

既報來る二十七日高月臺上に開催される縣下中等學校競技大會の當番校磐中は準備に大童の態であるが今二十四日出場十九校の選手番號は左の如く決定された

1喜中2川工3福中4双中5田中6會工7福師8盛業9郡商10平商11安中12達中13相中14會中15福商16白中17保中18若商19磐中

辻博士の健康相談

仙臺簡易保險健康相談所の囑託醫醫學博士辻治雄氏は來月二十五日來郡廿五日川前、二十六日夏井、二十七日三坂の豫定で三村保險加入者の健康相談に應ずる由

旅客が便宜に不定期の列車

東京鐵道局は常磐線旅客の便宜を圖る爲め七月三十一日から九月十日迄上野仙臺間に二〇六二〇五兩不定期列車を運轉することになつたが同列車の平驛發時刻は左の如くである

上り午前二時二〇分、下り午前二時五〇分

苗代品評入賞者

平町と好間村の聯合

平、好間聯合苗代品評會は左の程入賞者を左の如く決定した

△一等好間木田丑藏　同渡邊與惣次△二等好間鈴木尙外四名△三等同鈴木藏外八名△四等大谷藤次外二十二名

梨子出荷統制

石城郡果樹組合長會は二十七日午後一時から團體事務所に開き梨の荷造に關し同箱聯合組合からの共同購入出荷統制等に就き協議する

明日から小名濱に陸軍自動車隊演習

陸軍自動車學校は明二十五日から六日間小名濱、江名附近で野外演習を行ふ爲め昨二十三日先發部隊將士二十餘名來郡したが同演習は自動車の調整を目的としたもので參加車トラック乘用車合して九十四臺、將士二百九十八名で營舍は小學校同町當局は一般に強く非常時局を認識させる爲め部隊の模擬戰闘を交渉すると

蔬菜立毛審査

好間村夏作蔬菜立毛品評會は二十七日午前七時から審査會を開く

菜種價格協議

郡下菜種價格決定協議會は明二十五日午前十時から平町團體事務所で行はれる

兒童對抗籠球

小名濱、江名、玉川、鹿島、泉の十六校兒童の對抗籠球戰は二十九日午前九時から小名濱小學校庭で擧行する

社會事業講習

既報來月五日から五日間小名濱小學校に開催される方面委員町村吏員學校職員等の縣主催社會事業講習會には既記の如く東大教授穗積博士その他の講師が出席する外更に國際協會から下村宏博士が臨席して國際政局大觀の講演があると

平町人事

△死亡

△才槌小路一一　笹生精助氏（八五）

ヒヨケと雨具

敷爲のヒヨケ如何にと人とあぐ

日除　店舗用、事務所用　御座敷用、其ノ他

雨具　トラック用、馬車用シート　作業用、各種雨衣

朝日夕日に便利なるかな

登山天幕・諸雨具・日除

敷島テント商店　片町六丁目

産婦人科

手術室完備

醫學博士　五十嵐雄二

平町・新川町一二

入院隨時

五十嵐醫院

電話番號變更　電話三六九番

一歯科一般　工科　保存科補綴科　歯列矯正科　小兒歯科　歯槽膿漏科　口腔外科　一レントゲン科

中野歯科醫院

平町田町（松月堂向と）　電話五〇九番

院長　日本歯科醫學士　中野憙次　日本歯科醫學士　西川誠

闇に葬り去つた

胎兒の死靈に襲はる

煩悶の末信仰生活へ

罪の責苦を自首して

山村男女の愛慾繪圖

うら若い女性が年期奉公中妻子ある主家の伜と關係不義の子を宿した揚句、始末に窮して墮胎何喰はぬ顔でゐたがその後信仰生活に入つて始めて過去の罪の可責から自首して出た無智な農村男女の愛慾圖繪――三阪村大字下三阪字前澤農阿部忠雄方米澤市角東町長藏二女青柳みつ（二〇）は前借二百圓で　で七年前から同家に女中奉公中去る九年八月主家の伜藏造（二五）の甘言に欺かれて家人の眼を忍んで關係遂に姙娠した處藏造並に同人の義祖母圓谷ケサヨ（四二）が世間体を恥じて共謀の上、みつの無智に付　け込んで墮胎を敎唆、山間方部に傳はる原始的な方法で同年十月墮胎、胎兒は同家裏の河中に投じ闇から闇へ葬つた、以來みつは家人の白眼視に絶えられず十年三月無斷で實家に逃げ歸つたが極度の不安に襲はれて頻悶の末同市の敎會で信仰の生活に入り牧師に導　かれて米澤署に自首して出たものである、尙米澤署から照會に接した平署では早速關係者を召換、嚴重取調べを開始した

壹萬匹の螢を公園に放つ

仕掛け花火で涼しさ滿喫！

古平鍛冶町青年團鵬志會は明二十五日午後七時から松ケ岡公園池の畔で平螢光會の名の下に螢狩りの納涼大會を開くが態々會津の山奥から買ひ込んだ約一萬匹の螢を放つて自由な捕獲に委せレコートコンサート、仕掛花火等もあつて充分に涼しい氣分を滿喫せしめやうとする趣向で若し雨天の際は順延すると

妻女から

夫の捜査願

平署に願ひ出る

四倉町仲町米穀商根本金七婿養子須田信次（三七）は去月二十七日商賣に行くと稱して金七の衣類現金等を秘かに持ち出したまゝ行方を晦まし捜査中の處最近になつて平方面の知人宅に潛伏してゐる形跡がありますと妻女のきみさんからタド〳〵しい文章の捜査願が本二十四日平署に届けられた

笹生家の不幸

平町才槌小路公證役塩笹生仁一氏の嚴父精助翁は過般來病魔に侵され療養中の處二十三日午後三時半永眠された葬儀は明二十五日午後二時

木賃代を踏み倒して他に宿替へ

小名濱町字本町漁夫宮城縣名取郡玉浦村生れ照井數馬（四七）は去る三月二日以來六月十七日迄同町小名川木賃ホテル小松作太郎方に下宿宿泊料十五圓餘と米代五圓八十錢餘を踏み倒して他に宿舍を替えて拂はず詐欺罪として二十三日平署に檢擧された

生徒の負擔を學校から補助

第三校の夏休プラン

平第三小學校は昨廿三日職員會を開き夏休中のプランを協議した結果左記の如く湯の岳登山、豐間の海水浴飯野村龍門寺に於ける徹夜會及び試膽會、早起會、ラヂオ體操夫々案を立てたが同校では參加生徒の負擔輕減を圖る爲め湯の岳登山の平綴間往復汽車賃全額、豐間海岸行自動車賃半額は學校で補助する由

△七月二十九日湯ノ岳登山五、六年生△八月四日豐間海水浴四、五、六年生△八月十五日飯野龍門寺徹夜會、試膽會六年生△八月二十九日午前五時早起會全生徒△ラヂオ體操八月一日より末日迄

野菜類は雨で助る

高値を緩和

石城地方はこの數日來干天續きから發育盛りの野菜類が大脅惶を來し中には枯死するものが續出したので野菜類三割方暴騰したが昨夜來の降雨で幾分緩和された

裁判一束

△双葉郡浪江町大字權現堂字新町自動車運轉手後藤幸作（三五）は無免許の助手新山町大字新山字北廣川山田勝（二四）のトラックを運轉せしめ自動車取締令違反として今二十四日平區野木判事から各科料十五圓宛に略式命令を以て處分された

△湯本町で大掛りな鬪鷄賭博を開張檢擧され平檢事局から再三再四出風を命ぜられながら病氣を理由に出頭せず今日迄結審を延々させてゐた湯本町大字湯本字三函三六旅人宿島崎三五郎（六〇）に係る賭博事件の公判は昨二十三日午後二時から平區で中島判事係り清田檢事立會眞木辯護士列席の下に開廷檢事から懲役四ケ月罰金二百圓を求刑され判事から即決懲役五ケ月罰金百五十圓但し執行猶豫三年間の判決を言渡された

父精助儀病氣之處養生不相叶本日午後三時三十分八十五歳の高齢を以て死去致候間此段御通知申上候

追而葬儀は廿五日午後二時自宅出棺長橋町性源寺に於て佛式相營み申可候

昭和十一年七月廿三日

福島縣平町才槌小路十一

男　笹生仁一

男　柏谷精

外親戚一同

今日のラヂオ

仙台放送局

天氣豫報

今晩は南西の風曇後晴明日は南の風晴一時曇り

廿五日

今晩の部

▼後六、〇〇　連續童話劇「ポンポコ姉妹」BK子供サークル

▼後六、二五　生活改善講座「公衆道德」下村宏

▼後七、三〇　故日本放送協會長岩原謙三氏追悼講演　小森七郎　高橋箒庵

▼後八、〇〇　朗讀「或る日の大石藏之助」德川夢聲

▼後八、三〇　義大夫「平太郎住家の段」竹本叶太夫

▼後九、一〇　今日の漫談　秋山右樂　左樂

▼後九、三〇　時報　ニュース　明日の話題　氣象通報　番組豫告

明日の部

▼前六、三〇　速成獨語講座　登張信一郎

▼前七、〇一　朝の修養「即身成佛義」兒玉雲玄

▼前七、四一　敎育特別講座第一部「國民敎育の要望」林博太郎

▼前一〇、三〇　母の時間「兒童の手工藝」霜田靜志

▼後〇、〇五　經音樂　バライカ獨奏と獨唱　クズネツオフ

▼後〇、三五　國民歌謠「愛國機」東京リーダーターフエルフエライン

▼後二、〇〇　家庭講座「晝と夜の縫物と勉强の明るさ」伊賀秀雄

▼後六、〇〇　うたのおけいこ「子供のテキスト七月號特選童謠」ダン道子

▼後六、二五　趣味講座「夢遊病者の話」中村古峽

▼後七、三〇　子供と家庭の夕　1童謠　松本俊枝　2ラヂオドラマ　松竹大船連　3バンドネオン獨奏　杉井幸一　4お話と詩吟　奈良島知堂　佐々木孝吾　5今日の漫談　右樂左樂

▼後九、〇〇　時事解說「最近支那の動靜」高木陸郎

蔦の葛の解け瓦の解け谷々

（映画上映脚本）

悟道軒圓玉（作）
丸尾至陽（画）

一七九　湯屋の佐兵衛

池田大隅守は御門主輪王寺の宮様をお落し申してより別に同じ扮装をいたした者を七人新門から御門主様のごとく見せかけておとしました。それですからその當時宮様は千住から奥州にお出でになつたといふ説があつた、これは大隅守の策略です、大雨のあとゝて根岸から三河島にかけては水が出てゐる、そこをお忍びでお出でになる、この有様をある俳人が

わらんぢはかうめすもの
涙ぐみ遠く聞ゆる鐵砲の
音

と詠じましたが、そのさまが目に見ゆるやうです

ところで輪王寺の宮様は根岸より三河島の方をさして落ちさせられる、お供の者は僧侶五人に柳原健吉、もうその時は黒門もまつたく破れて酒井宰助は戦死した、同時に諸方のかためもやぶれて官軍は山内に亂れ入る、この時に大分賓物をごまかした先生もある、名も聞いて知つてゐるがそれは遠慮いたして置きます。勝てば官軍まければ賊よ命おしむな國の爲といふ唄ある、かうなつては彰義隊の勇氣もおとろへたゞ浮足になるばかり、そこを官軍が押しよせて斬り仆しまたは狙ひ計つ、この折谷中口まで引き上げて來たは卅人隊の中に鈴木榮吉といふ方がゐたがこの様子を見て榮『引つ返して戦へば死んでしまふ、それもわれ〳〵が死んだゝめにこの戦ひをもり返すことが出來るならばよいが、卅人四十人が死ねばとて回復することはあるまい、さア今の内に逃げてしまへ、逃げるといふ言葉が悪ければ引きあげろ』

といつた、それを聞いて一同が

○『これは鈴木の申すことが道理だ、それではこゝは引き揚ることにしやう』

ほど彰義隊、さァこれから何うしたものかと評議をした、この谷中口にはもう官軍も居らぬからこゝから逃げれば逃げられる、しかしこの場合に逃げるといへば卑怯者と笑はれるであらうとかう思つて、もう一度引つ返して戦ふといふものが多い、けれどもその實はこゝからのがれたい、この一ところゝより立退いたさうです、このことは私が鈴木榮吉氏より直接に聞いたことです、あんな時には負惜しみを出したがるものだが戦つたとてかなはぬから一同をすすめてこれから逃れたといひました、その後鈴木氏がこの人々に會つた時あの時に引つ返せば犬死をしたであらう。

逃れたために無事な顔を見ることも出來るといつて笑つたさうです

さて宮様は根岸から三河島の方を指してお出でになる、ところが武装した柳原が居つては目に付きます、そこで覺王院からこの事を申しきけし柳原を戻すことにした、健吉は何處までもお供をいたしたいと思つたが宮様のお爲めにならぬと聞き涙をながしてこゝでお別れ申し車坂の屋敷に引つ返した折しもこゝへ駆けて來たは蓑を着て笠を冠つた町人体の人物

○『覺王院様御無事でございまたか』

と聲をかけたその人を覺王院が見るとこれは下谷青石横丁の湯屋の主人佐兵衛です、これはかねての知己の者

觀『おゝ佐兵衛か、何うして貴様はこれへ參つた』

佐『私の家はもう灰になりました、それについて御門主様は何うなさいましたかとそれが氣になりましてやうやうやくこゝまで參りました』

覺『おゝ左様か、輪王寺の宮様はこゝにお在するぞ』

佐『エッ、あゝ勿体ないことでございます』

と笠を取つてペッタリとそれへ坐し、兩手をついてホロ〳〵と涙を流した、これを見て覺王院義觀が

義『佐兵衛、御門主様は御歩行になれず大分大儀の御様子なればそちが背負ひ參らもよ』

と申した

（通信販賣）

誰にも愧じいと思ひせず買へる

絶對保證できる性器具
「衛生サック」

壹號品　一打　壹圓也（送料共）
貳號品　〃　六拾錢也（〃　）
特製品　〃　四拾錢也（〃　）

お求めの御方は平局内私書函第三十四號宛爲替封入申込みますと直ちに厳重荷造の上個人名義にて送附いたします。（切手代用は一割増）但し代金引換はお斷りいたします。

◇特別奉仕
壹號品、貳號品は二打以上。特製品は三打以上御買上の方には定價一割引いたします。

●性病豫防　●産兒調節

宛名　平郵便局私書函第三十四号
㊀商會衛生部

小店員入用
●御希望の方は當店迄御出下さい

平驛前
㊀阿部石炭店
電話三十七番

◇營業開始◇

大衆奉仕を……念願とし社會中層の御相手旅館として營業致しました。調度品一切新調、室内電話の設備あり

眺望並に清新……の氣分に於て他に遜色なく旅の御疲れを慰むるに適當な處と存じます。

室貸を主とし……經營致します故御食事は御自由ですがお望みに依り差上ぐる設備もあります。

新築落成

▼茶代は勿論申受けません。
何卒御引立の程を願ひます。

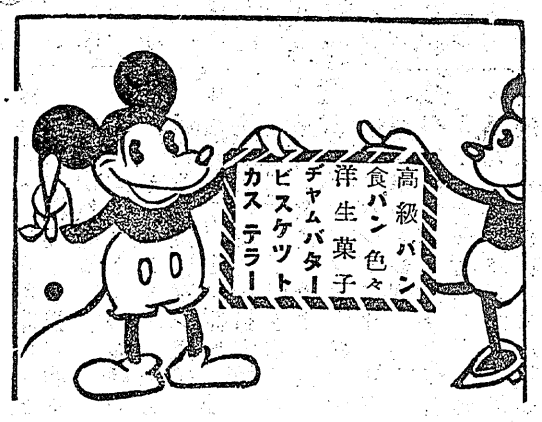
平郵便局通り（吉田新聞店前）
やよひ館
【電話七六番】

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい
直に家政婦派出します

親切叮寧　料金は極めて低廉で
姙産婦の御家庭　お留守居番
御病人の付添
炊事や雑用　年寄やお子さんの付添

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二（電話二二番）
上原家政婦會
會主　産婆　上原通子

美味……
新鮮……

ベーカリー
東京堂のパン
是非御試食を！
平搗槌小路
電一〇八番
徒弟入用